半田プライド

半田醸芳小学校学校だより

令和４年　５月２７日発行

No. ８　　文責：五十嵐

体験的学習の充実　～見る　触れる　感じる授業～

５年生は総合的な学習の時間に社会科等の学習と関連させながら，「米作り」について学んでいます。１７日には，ＪＡ職員の方々，体験活動ボランティア活動支援センターの内村さん，田畑をお借りしている鈴木さん，町地域おこし協力員の梅原さんを講師として，学校田で「田植え」を実施しました。始めは，長靴が田にはまって四苦八苦する場面も見られましたが，次第に慣れ，生き生きとした表情で活動に取り組んでいました。

また，２５日には，引き続き内村さん・鈴木さん・梅原さんにご協力いただき１・２年生が「さつまいもの苗植え」を実施しました。内村さんと鈴木さんに「苗の植え方」や「大きな実をならせるためのコツ」を教えていただき，子供たちは「いっぱいなるといいなぁ。」「大きいさつまいもがとれるといいなぁ。」など，秋の収穫を想像しながら意欲的に活動に取り組んでいました。

このような「体験的な学習」の効果は絶大です。時に学習の始めの動機づけとなったり，教科書で学んだ内容の確認をしたり，新たな知識や知恵を吸収したり，工夫を感じ取ったり・・・・，まさしく「百聞は一見に如かず」です。現在は，テレビやインターネット等で簡単に映像を目にすることはできますが，それでは田の水の冷たさや泥の感触，苗の柔らかさや土のぬくもりは感じられません。また，メディアを通して得られるその情報が正しいとは限りません。

自分の目で見て，触れて，感じて，考える。今後も感染症対策に留意しながら，地域の教育資源を効果的に活用しながら体験学習の充実を図っていきたいと思います。

いざというときのために・・・。「引き渡し訓練」

先日は，平日のお忙しい時間帯にもかかわらず，「引き渡し訓練」にご協力いただきありがとうございました。今回は「不審者対応」における「引き渡し訓練」でしたが，おかげさまで，「事件発生→校内での連絡・情報共有→通報・児童の避難誘導→メール送信→引き渡し」までの一連の流れや各自の役割分担が明確になり，緊急時に迅速に対応できる体制が整ったと感じています。

自然災害や事件等はいつ発生するか分かりません。また，自然災害等による施設の使用制限時には，今回と同じような引き渡しができるとも限りません。今回の訓練を踏まえさらに改善をしながら，いざというときに子供たちの安全・安心をしっかりと確保できるよう取り組んでいきたいと思います。今後もご協力をよろしくお願いいたします。